

令和6年度 指定管理者モニタリング評価表

1. 施設の概要等

施設の概要

施設の名称	YONETSU－KANささおか		担当課	清掃センター			
所在地	あわらし笹岡第32字88番地2		開設年月日	平成8年10月			
施設設置目的	圏域住民の福祉増進に寄与するとともに、健康と体力づくりの増進を図るため設置						
施設内容	敷地面積 12,000㎡ 延床面積 2,600㎡ 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋建 【プール】流水プール・25m×3コース直線プール・幼児用プール・ ウォータースライダー・ジャグジー 【風呂】一般風呂・薬風呂・水風呂・露天風呂・サウナ 休憩室・レストラン・談話室・ホール・屋外に多目的芝生広場・駐車場						
指定管理者	イワシタ物産株式会社		選定方法	公募(応募者数2)			
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日 (5年間) (5年目)						
指定管理者の 主な業務	YONETSU－KANささおかの管理運営に関する基本協定書、管理運営業務仕様書等に定めた業務 ①管理運営に関する業務 (利用の案内・受付、利用料徴収、プール監視、設備機器運転及び監視保守、広報、多目的芝生広場管理、自主事業の実施等) ②維持管理業務 (保安警備、清掃、各設備保守管理業務等)						
利用料金制の導入	有 ・ 無		指定管理料		有 ・ 無		
施設の 利用 状況 等	指標 (単位)	利用目標	利用実績	前年度実績	対目標比(%)	対前年比(%)	備考
	入館者数 (人)	160,126	152,479	161,682	95.22%	94.31%	
	利用料収入 (円)	53,426,000	50,008,050	54,622,100	93.60%	91.55%	
	自主事業収入 (円)	47,630,000	45,353,394	48,002,865	95.22%	94.48%	
	【特記事項】						

収 支	収 入	指定管理者収支(令和6年度)		
		項目	予算額	決算額
		指定管理料	40,300,000	40,300,000
		入館料	53,426,000	50,008,050
		利用料	100,000	144,000
		自主事業収入	47,630,000	45,353,394
	支 出	電気補助金	0	0
		計	141,456,000	135,805,444
		人件費	50,180,000	55,702,688
		消耗品費	6,402,000	7,322,217
		光熱水費	32,542,000	33,045,784
		修繕料	1,400,000	1,506,450
		宣伝費	2,376,000	927,288
		通信料	218,000	188,561
		保険料	320,000	308,680
		委託料	5,933,000	6,363,213
		原材料費	22,838,000	21,770,879
		その他	11,921,000	13,149,954
		計	134,130,000	140,285,714
	損益	7,326,000	△ 4,480,270	

2. 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
	調査対象	入館者		
	調査方法	受付で入館者に無作為配布・アンケートBOX・電子アンケート		
調査結果	調査対象数	233人（男性 98人、女性 128人、未回答 7人）		
	【利用者の満足度】			
	①大変満足 56%	②やや満足 16%	③ふつう 22%	④やや不満 4%
利用者からの 意見・要望等	○ 500円でプールとお風呂が利用出来て良かった	● 脱衣場が汚い		
	○ 施設内がきれいだった	● シャワー圧が弱い		
	○ 食事がおいしい	● サウナ/水風呂のマナーが悪すぎる		
	○ 安くて子供連れにも良かった	● サウナの場所取りがひどい		
	● 湯舟が汚い	● 露天風呂にととのいいイスを置いてほしい		
	● プールの水が汚い	● 食事のメニューを増やしてほしい		
	● スライダーの時間を増やしてほしい	● ヘルシーなメニューがあると良い		
	● 夏場の混雑がひどい			

3. 指定管理者による自己評価

令和6年度の 自己評価	5か年の5年目になります。指定管理5か年の最終年度である本年は、入館者数は毎月1万人を確実に出せるようになりました。この5年間で築き上げた店舗の方向性が上手く世間と合致し、上半期は前年度の同月対比を更新するという結果となりました。プールがあるという施設の特徴を活かし、お子様連れの家族を取り込み利用者数を増やしてまいりましたが、昨年度からお風呂を主体とした家族利用の増加も躊躇になりました。利用者数、収入が増加する一方で、人件費・物価は高騰が続き運営費の増加が著しく、収支はマイナスの結果となりました。収益のバランスを図るため、例年夏に広域圏に配布していた小学生向けの招待券は、昨年より配布を終了しました。それでも、例年通りの利用者数があり、今までのPR効果や満足感が再来店に繋がっていると実感できました。レストランにおいては、お米等の価格高騰の対応のため、メニュー売価の見直し等を実施しました。物販においても、単価の高い商品を取り入れる等をして、収入増に取り組みました。秋以降は度重なる設備故障により臨時休館が発生しました。スタッフの生活を考慮し、休業補償やグループ施設での受け入れ等の対応を行いました。厳しい状況の中でも過去2番目の実績で終えられることが出来た点は、一定の成果として評価できるものと考えております。		

4. 組合の評価

指定管理の 成果等	当施設の特徴であるサウナやプール利用の優位性を生かした施設運営を行っている。		
第3期指定管理 総合評価	第3期指定管理期間では、新型コロナウイルス感染症の影響による様々な制限がある中、指定管理者のノウハウを最大限に活用し、適切な管理運営が行われた。特に、サウナブームを捉え、趣向を凝らしたイベントや変わり湯の開催など、常に利用者に寄り添った企画を実施したことは高く評価できます。また、館内Wi-Fiの整備やSNSを活用した情報発信により、利用者数が年々増加し、第2期指定期間を上回った点も特筆すべき成果です。利用者が増加した一方で社会情勢の変化により人件費や原材料費、電気料金の高騰により収支が安定しない年も見受けられました。		

判断の基準		組合評価	指定管理者 自己評価
S	極めて良好		
A	良好	B	A
B	標準		
C	要改善		
D	早急な改善が必要		